

第 76 回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副 反応検討部会、令和 3 年度第 28 回薬事・食品衛生審議 会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会	資料 1-3-3
2022(令和 4)年 2 月 18 日	

新型コロナワクチン接種後の死亡として報告された事例の概要 (バキスゼブリア筋注、アストラゼネカ株式会社)

1. 報告状況

○前回の集計対象期間（1月2日）以降、バキスゼブリア筋注の副反応疑い報告において、医療機関又は製造販売業者から死亡として報告された事例は新たになく、令和3年8月3日から令和4年1月23日までに報告された死亡事例は計1件となった（別紙1、2）。

○なお、上記に加え、令和4年1月24日から令和4年2月4日までに、医療機関又は製造販売業者から死亡として報告された事例はなかった。

2. 専門家の評価

○令和3年8月3日から令和4年1月23日までに報告された1事例を対象に、ワクチンと死亡との因果関係について、専門家の評価を実施（別紙1）。評価結果は以下のとおり。

因果関係評価結果（公表記号）	件数
α （ワクチンと死亡との因果関係が否定できないもの）	0件
β （ワクチンと死亡との因果関係が認められないもの）	0件
γ （情報不足等によりワクチンと死亡との因果関係が評価できないもの）	1件

(参考1) 報告件数 (令和3年8月3日～令和4年1月23日)

(1) 接種回数^{注1}別評価結果

	総数			
		α	β	γ
1回目	0	0	0	0
2回目	1	0	0	1
接種回数不明	0	0	0	0

注1：1件の副反応疑い報告書において、異なる接種回の副反応疑い事例が同時に報告されている場合は、当該報告書における最大接種回数を、当該報告の「接種回数」として記載・集計している。

(参考2) 報告頻度 (令和3年8月3日～令和4年1月23日)

(1) 接種回数別報告頻度

接種回数	報告件数／推定接種回数 ^{注1}	100万回あたりの報告件数
1回目	0件／58,191回接種	0.0件
2回目	1件／57,681回接種	17.3件
合計 ^{注2}	1件／115,872回接種	8.6件

注1：推定接種回数（首相官邸 Web サイト（1/26 時点掲載データ参照）。推定接種回数については、集計期間に計上された推定接種回数の差分により概算しているため、1回目（又は2回目）推定接種回数より2回目（又は3回目）推定接種回数が上回ることがある。

注2：「合計」の「報告件数」には、接種回数が不明なものも含む。

【別紙1】

新型コロナワクチン(パキスゼブリア筋注、アストラゼネカ株式会社)接種後に死亡として報告された事例の一覧(令和3年8月3日から令和4年2月4日までの報告分)

★評価記号
 α:「ワクチンと死亡との因果関係が否定できないもの」
 原疾患との関係、薬理学的な観点や時間的な経過などの要素を勘案し、医学・薬学的観点から総合的に判断し、ワクチン接種が、事象発現の原因となったことが否定できない症例
 β:「ワクチンと死亡との因果関係が認められないもの」
 原疾患との関係、薬理学的な観点や時間的な経過などの要素を勘案し、医学・薬学的観点から総合的に判断し、ワクチン接種が、事象発現の原因となつたとは認められない症例
 γ:「情報不足等によりワクチンと死亡との因果関係が評価できないもの」

No	年齢 (接種時)	性別	接種日	発生日 (死亡日)	ロット番号	接種回数	基礎疾患等	死因等 (報告者による見解・考察等)		報告医が 死因等の判断に 至った検査	因果関係 (報告医評価)	他要因の可能性 の有無 (報告医評価)	専門家による評価【令和4年1月21日時点】		専門家による評価【令和4年2月18日時点】			
								報告書上の記載	対応するMedDRA PT				ワクチンと死亡との 因果関係評価 (評価記号*)	コメント	ワクチンと死亡との 因果関係評価 (評価記号*)	コメント	評価に用いた報告内容 ^{注2}	
																	資料番号	症例No
1	57歳	男	2021年11月4日	2021年11月4日	D017A	2回目	大動脈弁狭窄(経絡中)、上行大動脈解離(2017/2)、高血圧、前置異常症、心臓手術歴 併用薬:ロスバスタチン、フェブリク、ピソプロロールフェマル酸、イミダプリル、イコザペント酸、ミヤBM、吸塵機、ジスチグミン、タムスロシン 2回目接種約3時間後、自転車走行中に突然倒れ、目撃者により救急要請、心肺停止状態が確認され、搬送された。 (~1/21の情報に基づく)	不明	不明	血液検査、CT(全脳造影)、両側下葉浸潤影)、冠動脈造影検査(有意所見なし)	評価不能	有(大動脈弁狭窄症)	γ	死因は不明であり、患者背景や経過の詳細も得られておらず、ワクチン接種と死亡の因果関係は評価できない。	γ	死因は不明であり、患者背景や経過の詳細も得られておらず、ワクチン接種と死亡の因果関係は評価できない。	資料1-2-2-3	19665

注1:各症例の記載は、令和3年8月3日～令和4年2月4日までに、医療機関又は本ワクチンの製造販売業者から副反応疑い報告された内容に基づく。専門家による評価は、特記した場合を除き、令和4年1月23日時点の報告内容に基づき実施。
 注2:直近の集計対象期間において新規又は追加報告された症例について、対応する症例Noを記入している。同一症例であっても、報告内容の更新等により医療機関又は製造販売業者から複数回報告される場合がある。同一症例について複数回報告された場合は、評価時点で最後に報告された報告内容に基づき評価している。
 注3:「死因等」の記載は副反応疑い報告書の記載(接種の状況、症状の概要、報告者意見)を総合的に考慮の上、記載。資料1-1-2や資料1-2-2の「症状名(PT)」とは異なることがある。
 注4:報告書における死因等の記載が基礎疾患の増悪等とされているものについては、本資料においては、7/21以降(対応するMedDRA PT)は基礎疾患等の名称ではなく、「状態悪化」として整理している。
 注5:「血小板減少症を伴う血栓症」が死因として疑われると報告された事例については、「対応するMedDRA PT」には、令和3年10月22日までは、血小板減少に伴う血栓症に添った血栓症の両方を併記。10月22日以降は「血小板減少症を伴う血栓症」と表記。10月22日までに報告された症例においても、10月22日以降の追加報告の際に、死因を「血小板減少症を伴う血栓症」に更新、又は死因に「血小板減少症を伴う血栓症」を追加している。
 注6:1件の副反応疑い報告書において、異なる接種回の副反応疑い事例が同時に報告されている場合は、当該報告書における最大接種回数を、当該報告の「接種回数」として記載・集計している。

【別紙2】

新型コロナウイルスワクチン（パキセゼブリア筋注、アストラゼナカ株式会社）接種後死亡事例 死因別集計表※
 （令和3年8月3日から令和4年1月23日までの報告分）
 （接種回数総計）

※本頁で列挙している症状名等は、死因として確定されていないものも含め報告書に記載のあった死因と関連する可能性のある全ての症状名を計上しているものであり、当該症状等が原因で死亡したことを示すもの

総計	40歳未満 集計				40歳以上65歳未満 集計				65歳以上 集計				年齢不明 集計			
	男	女	性別不明	性別不明	男	女	性別不明	性別不明	男	女	性別不明	性別不明	男	女	性別不明	
総計	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
不明	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
不明	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

注1: 1/23時点の報告内容に基づき集計。集計時点が別紙1(2/4)とは異なるため、追加報告の報告時期によっては、各症例の死因や年齢等について、別紙1とは異なることがある。
 注2: 同一症例に複数の死因等の記載がある場合はいずれも計上しているため、件数の総数と症例数は一致しない。
 注3: 「死因等」の記載は副反応疑い報告書の記載（接種の状況、症状の概要、報告者意見）を総合的に考慮の上、記載。資料1-1-2や資料1-2-2の「症状名（PT）」とは異なることがある。
 注4: 報告書における死因等の記載が基礎疾患等の記載とされているものについては、本資料においては、7/21以降「対応するMedDRA PT」は基礎疾患等の名称ではなく、「状態悪化」として整理している。
 注5: 「血小板減少症を伴う血栓症」が死因として疑われると報告された事例については、「対応するMedDRA PT」には、令和3年10月22日までは、血小板減少に係る症状と血栓症に係る症状の両方を併記。10月22日以降は「血小板減少症を伴う血栓症」と表記。10月22日までに報告された事例においても、10月22日以降の追加報告の際に、死因を「血小板減少症を伴う血栓症」に更新、又は死因に「血小板減少症を伴う血栓症」
 注6: 1件の副反応疑い報告書において、異なる接種回の副反応疑い事例が同時に報告されている場合は、当該報告書における最大接種回数を、当該報告の「接種回数」として記載・集計している。「接種回数総計」は、接種回数が不明なものを含む。